

競技会で使用する略語・略号

記録用紙，電光掲示盤等への表記は，下記の略号等を用いて簡潔に表記してください。

また，略語（略号）を使用する場合は，使用する略号一覧と説明等をプログラムに記載して観客，競技者に意味が分かるようにしてください。

*スタートリスト・リザルトにも可能であれば必要な略号と説明を記載してください。

略号	日本語表記	読み／意味
WR	世界記録	World Records
= WR	世界タイ記録	Equal World Records
WIR	室内世界記録	World Indoor Records
= WI	室内世界タイ記録	Equal World Indoor Records
WJR	ジュニア世界記録	World Junior Records
= WJ	ジュニア世界タイ記録	Equal World Junior Records
WJI	室内ジュニア世界記録	World Junior Indoor Records
= JI	室内ジュニア世界タイ記録	Equal World Junior Indoor Records
NR	日本記録	National Records
= NR	日本タイ記録	Equal National Records
NIR	室内日本記録	National Indoor Records
= NI	室内日本タイ記録	Equal National Indoor Records
NJR	ジュニア日本記録	National Junior Records
= NJ	ジュニア日本タイ記録	Equal National Junior Records
NJI	室内ジュニア日本記録	National Junior Indoor Records
= IJ	室内ジュニア日本タイ記録	Equal National Junior Indoor Records
GR	大会記録	Game Records
= GR	大会タイ記録	Equal Game Records
NM	記録なし	No Marks
DNS	欠場	Did Not Start
DNF	途中棄権	Did Not Finish
DQ	失格	Disqualified
Q	順位による通過者	Qualified
q	記録による通過者	qualified
R	救済および審判長等の決定による	Relief or Referee Decided
○	成功（有効試技）	Cleared
×	失敗（無効試技）	Failed
—	パス	Pass
/	試技放棄（離脱）「スラッシュ」	

2014_11改訂（陸連 No.35）

*備考

- ① 大会記録の表示は、大会の規模や性格により表現が異なるため、国内大会では従来のおり大会記録（GR）を使用して下さい。

ただし、国体や国際大会など競技運営システムで対応可能なものについては、下記の略語（例）などで対応をお願いします。

例）国体【GR：Game Records】，日本選手権【CR：Championship Records】，スーパー陸上【MR：Meet Records】

- ② 「Q, q, R」について

- 1) トラック競技の場合（例 3組2着+2）

Q： 各組2着以内の競技者 Qualified by place

q： 3着以下で、記録が上位の競技者2名 qualified by time

R： 救済および審判長等の決定により次ラウンドに進出させた競技者

- 2) フィールド競技の場合

Q： 予選通過標準記録突破者 Qualified by pre-set standard

q： 規則第180条15による決勝進出者 qualified as per rule 180 - 15

R： 救済および審判長等の決定により次ラウンドに進出させた競技者

* 予選通過標準記録を突破した競技者が12名に満たない場合、決勝進出者を12名とすることから、予選通過標準記録突破者に（Q）を、規則第180条15による決勝進出者に（q）をつける。

- ③ 失格の理由等は、略号等を使用して表記して下さい。その略号は、主催団体が決めてかまいません。

失格の理由を示す略号 (例)

略号	内容	Rules
FS	不正スタート	R162-6
T1	他の競技者を妨害した	R163-2
T2	他のレーンに入った	R163-3(a)
T3	縁石のうえ、内側ライン上またはその内側を走った	R163-3(b)
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	R163-5
T5	競技者がトラックから勝手に離脱した	R163-6
T6	ハードルを越えなかった	R168-7
T7	足又は脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置を通った	R168-7(a)
T8	故意にハードルを倒した	R168-7(b)
R1	テイク・オーバーゾーン内でバトンパスが完了しなかった	R170-7
R2	加速ゾーンの外側からスタートした	R170-3
W1	W・C・C で3名以上が赤カードをだした	R230-6(a)
W2	W・C・C で3名以上が赤カードをだした	R230-6(a)
W3	W・C・C と W・C・C で3名以上が赤カードをだした	R230-6(a)
W4	W・C・C で競歩主任が単独で失格にした	R230-3(a)
W5	W・C・C で競歩主任が単独で失格にした	R230-3(a)

2014_11改訂 (陸連 No.35)

公認競技会の規程の制定についての検討

○ 経過

公認記録に関する要件を整理し、審判ハンドブックに掲載していく。

規程案
公認競技会規程
(目的) 第1条 この規程は、公益財団法人日本陸上競技連盟（以下「本連盟」という。）が公認する競技会に関し、必要な事項を定めるものとする。
(定義) 第2条 公認競技会とは、本連盟が認めた競技会をいう。
(公認競技会の主催) 第3条 公認競技会の主催は、国内において本連盟のみがその権利を有する。 2 本連盟は、加盟団体に、管轄する都道府県の陸上競技選手権大会及びその地域内での種々の公認競技会を主催する権利を委譲する。なお、本連盟の承認のもと全国規模の大会を主催することもできる。 3 加盟団体は、加入団体に、自己と密接な関連がある公認競技会を主催する権利を委譲する。 4 本連盟は、地域陸上競技協会に地域陸上競技選手権大会及び地域的競技会の公認競技会を主催する権利を委譲する。 5 本連盟は、日本実業団陸上競技連合とその下部組織に、実業団の公認競技会を主催する権利を委譲する。 6 本連盟は、日本学生陸上競技連合とその下部組織に、主に大学生が参加する公認競技会を主催する権利を委譲する。 7 全国高等学校体育連盟とその下部組織は、本連盟とその下部組織の主催の下に高校生の公認競技会を開催できる。 8 日本中学校体育連盟とその下部組織は、本連盟とその下部組織の主催の下に中学生の公認競技会を開催できる。 9 本連盟は、日本マスターズ陸上競技連合とその下部組織に、マスターズの公認競技会を主催する権利を委譲する。 10 本連盟は、本連盟が出資及び設立した法人に、公認競技会を主催する権利を委譲することができる。
(公認競技会の共催) 第4条 主催者は、主催者と共同して公認競技会を開催する団体を共催者とすることができる。

<p>(参加競技者)</p> <p>第5条 公認競技会には、本連盟登録会員規程に定める登録会員のみが競技者として参加できる。</p> <p>ただし、以下の者についてはこの限りではない</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 道路競走競技会に参加する競技者 ② 小学生競技者 ③ 主催者が認めた外国人競技者 <p>2 公認競技会には次の各号に該当する者は参加を認められない。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国際陸上競技連盟(以下、「IAAF」という。)規則及び国内適用第1章、第2章に反する者。 ② IAAFまたは本連盟の資格審査により、資格停止または競技会参加を禁止されている者。 ③ 外国人競技者にあたってはその者の属する国のIAAF加盟団体から競技者資格および競技会参加許可に関する証明書を得ていない者。
<p>(競技規則の遵守)</p> <p>第6条 公認競技会は、本連盟競技規則に基づいて行われるものとする。</p>
<p>(競技場及びコース)</p> <p>第7条 公認競技会は、本連盟の公認に関する諸規定に合致した陸上競技場、室内陸上競技場、長距離競走路及び競歩路で行うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 クロスカントリー競走競技会は、本連盟競技規則第250条及びクロスカントリー競走コース設定基準に準じるコースで行うこととする。 3 マウンテンレースは、本連盟競技規則第251条に準じるコースで行うこととする。 4 駅伝競走競技会は、駅伝競走規準に準じるコースで行うことが望ましい。
<p>(審判)</p> <p>第8条 公認競技会の審判員は、補助員を除きすべて公認審判員であること。</p>
<p>(開催の申請及び承認)</p> <p>第9条 公認競技会を開催するには、管轄する加盟団体または協力団体の審査を経て、本連盟が定める方法により競技会開催前に本連盟に申請し承認を受けなければならない。</p>
<p>(結果の提出)</p> <p>第10条 公認競技会の結果は、本連盟が定める方法及び書式で競技会終了後30日以内に本連盟に提出しなければならない。</p>
<p>(ロゴの付与)</p> <p>第11条 公認競技会の主催者は、本連盟公認競技会ロゴをポスター、プログラム、チラシ等に付与する権利を有する。</p>
<p>(公認競技会の取り消し)</p> <p>第12条 本連盟は本規程が遵守されない公認競技会の公認を取り消す。</p>

公認記録規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人日本陸上競技連盟（以下「本連盟」という。）が公認する記録に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 公認記録とは、本連盟が認めた記録をいう。

(要件)

第3条 公認記録には、以下の条件が必要となる。

- ① 公認競技会で樹立された記録であること。ただし、クロスカントリー競走、マウンテンレース及びロードリレーを除く駅伝競走の記録は、公認記録にならない。
- ② 競技者が本連盟登録会員、もしくは主催者が認めた外国人競技者であること。
- ③ 競技場で行われる種目は、事前に検定を受けている距離及び器具で実施されていること。
- ④ 競技会終了後30日以内に指定された方法及び書式で、本連盟に結果が申請されること。

(公認記録の取り消し)

第4条 本連盟は本規程が遵守されない公認記録を取り消す。

公認競技会における取り扱いについて

○ 公認の道路競走競技会における公認記録の扱い

公認の道路競走競技会においては、登録者と未登録者が混在して競技を行うことが認められている。その中で、公認記録となるのは、本連盟登録会員だけである。道路競走競技会においては、グロスタイム（スタートの号砲からフィニッシュまでの時間）とネットタイム（スタートラインを通過した時からフィニッシュまでの時間）が表示されることがある。その中で公認記録となるのはグロスタイムだけである。よって、競技会の参加標準記録として使用できるのは、グロスタイムだけである。

○ 公認の道路競走競技会における取り扱い

- 主催者は、エントリーの際に競技者の登録の有無を確認する。
- プログラムに登録者であることがわかるように表示する。登録者は所属団体名・登録都道府県名を表記する。未登録者は所属名を表記しないことが望ましい。
- 登録者として出場するためには、エントリー時と競技会実施時の双方において登録会員であることが条件となる。
- スタートの並び順は、登録者と未登録者を分けて整列させる必要はなく、安全な競技運営の観点から登録者、未登録者に関わらず参加者の持ちタイム順に並べることが望ましい。したがって、登録者と未登録者の参加資格（制限タイム）を別のものに設定することは望ましくない。
- トランスポンダーを使用する競技会においては、記録の申請は電子申請を行うことが望ましい。



Application for a World Record TRACK EVENT

This form must be completed and dispatched within 30 days of the World Record performance (cf. Rule 260.4) to:

INTERNATIONAL ASSOCIATION OF ATHLETICS FEDERATIONS
17, rue Princesse Florestine, BP 359, MC 98007, MONACO Cedex

APPLICATION IS HEREBY MADE FOR THE RATIFICATION OF THE FOLLOWING RECORD, IN SUPPORT OF WHICH THE BELOW INFORMATION IS SUBMITTED: (Please type or use block capitals, tick where appropriate.)

World Record World Junior Record World Indoor Record World Junior Indoor Record

APPLICATION DATA

Event (e.g. 100m, 3000m SC):	100m	<input checked="" type="checkbox"/> Men	<input type="checkbox"/> Women
Record Time Claimed (e.g. 9.58, 7:53.63):	10.05		
Full Name of Athlete:	KIRYU, Yoshihide		
Country of Athlete:	Japan	Date of Birth for Juniors:	dd D . mm M 1995 Y
For Relay Events, the full names of all team members, in the order of running (including DOB for Juniors):			
Name of Competition:	The 93rd Kanto Inter-collegiate Championships in Athletics		
Date of Event:	May 17, 2014	Time of Event:	12:35
City:	Kumagaya		
Country:	Japan		
Name of Stadium:	Kuamagaya Sports & Culture Park Athletic Stadium		

RESULTS OF COMPETITION

	Name	Country	Result
1st:	KIRYU, Yoshihide	Japan	10.05
2nd:	CAMBRIGE, Aska	Japan	10.21
3rd:	OSETO, Kazuma	Japan	10.27

STARTER

I certify that the start of the race was in accordance with IAAF Rules.	
Make of False Start Control Device (if applicable):	SEIKO FL6
Reaction Time (if applicable):	0.138
Starter:	Masayoshi Yamazaki
Signature:	スタータ 署名

FULLY AUTOMATIC TIMING	
Make of Timing Device:	NISHI MF700
Official Time Recorded:	10.05
Chief Photo Finish Judge:	Yukio Hoshina
Signature:	写真判定主任 署名

HAND TIMING (if applicable)			
I, the undersigned official timekeeper of the event mentioned on this form, do hereby certify that the time set opposite my signature was the exact time recorded by my watch and that the watch used by me has been certified and approved by my National Federation.			
Time:	Name:	Signature:	
Time:	Name:	Signature:	
Time:	Name:	Signature:	
I confirm that the above Timekeepers exhibited their watches to me and that the times were as stated.			
Chief Timekeeper or Referee:			
Signature:			

WIND MEASUREMENT (if applicable)	
Type and Make of Wind Gauge:	NISHI NMS222R (Non-mechanical)
Wind Speed in the Direction of Running:	+1.6m
Wind Gauge Operator:	Shichiro Koike
Signature:	風力計測員 署名

DOPING CONTROL	
I, a member of the Doping Committee for the Competition, certify that a sample for a doping test was obtained in accordance with IAAF Rules from the above mentioned athlete in my presence and dispatched to the following accredited laboratory:	
NOTE: For relays, samples must be obtained from ALL members of the team.	
Date and Time of Doping Sample Collection:	May 17, 2014 19:44
Testing Laboratory:	TOKYO, JAPAN
Doping Control Officer:	Yasunari Sekimizu
Signature:	ドーピング検査担当者 (DCO) 署名

ATHLETICS FACILITY	
The Facility holds a current valid IAAF Athletics Facility Certificate: <input type="checkbox"/> Class 1 <input checked="" type="checkbox"/> Class 2 <input type="checkbox"/> Indoor	
or	
The competition site complied with the conditions set out in the IAAF Certification System. The respective parts of the IAAF Measurement Report Form are attached to this application. <input type="checkbox"/>	
Technical Manager:	Shigeki Matsueda
Signature:	技術総務 署名

GUARANTEE BY REFEREE

I hereby certify that all the information recorded on this form is accurate, that the officials conducting the Competition were duly qualified and that the appropriate IAAF Competition Rules were complied with.

Referee:	Takahiro Watanabe
Signature:	審判長 署名

THE FOLLOWING MUST BE ENCLOSED WITH THIS APPLICATION

The printed programme of the Competition, the complete results of the event including the reaction times (if applicable), the Photo Finish and Zero Test image in the case of a track record where Fully Automatic Timekeeping was in operation, Judges' Score Sheet, Official Results, Doping Control Form, Passport copy for Juniors.

Additional Information For Historical Purposes

Weather Conditions:	(at 12:00pm) Fine, Wind:ENE3.4m/s Temp.:25degrees hum.:29%
Intermediate Times (if applicable):	
If Available:	<input type="checkbox"/> Video of the record for IAAF use <input type="checkbox"/> Photograph of the athlete <input type="checkbox"/> Press cuttings

RECOMMENDATION BY IAAF MEMBER FEDERATION

The undersigned IAAF Member hereby certifies that it is satisfied with the accuracy of this application and recommends it for acceptance:

IAAF Member Federation:	Japan Association of Athletics Federations		
President: (Name)	Hiroshi Yokokawa	Gen. Sec.: (Name)	Akira Kazama
Signature:		Signature:	

IAAF APPROVAL

IAAF President	Date	IAAF General Secretary

フィールド競技試技時間表(票)

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	-
連続試技*	2分	3分	2分

* 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で同一の高さのみ適用する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人又は連続試技*	2分	3分	2分

* 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	-
連続試技*	2分	3分	2分

* 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で同一の高さのみ適用する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人又は連続試技*	2分	3分	2分

* 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	-
連続試技*	2分	3分	2分

* 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で同一の高さのみ適用する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人又は連続試技*	2分	3分	2分

* 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。